

《合併15周年記念》
久喜市の未来を語らうタウンミーティング
～住み続けたいまちの実現に向けて～

日 時 : 令和7年9月29日(月) 19時～20時15分
場 所 : 森下コミュニティセンター
参加人数 : 38名

【意見交換要旨】

①. 赤堀の管理体制と一級河川昇格への要望について

主な意見・提案	市長の回答(要旨)
栢間地区を流れる赤堀は、農家組合などが管理を担っていますが、担い手の高齢化などにより維持継続が困難です。市による一級河川としての公的管理を強く要望します。	現在の河川管理には、担い手不足などの大きな課題があることを認識しています。 これまで保全を担ってこられた皆様のご意見を真摯に受け止め、持続可能な管理方法について改めて検討します。一級河川化などの抜本的な対策についても、実現可能性を含め検討してまいります。

②. 公共プールの再編と学校遊具の整備について

主な意見・提案	市長の回答(要旨)
余熱利用施設の新設に伴う既存温水プールの廃止は、子どもたちの利用状況を踏まえ慎重に判断してほしいです。 また、三箇小学校では古い遊具の撤去後、新設が進んでいないため、早期設置を要望します。	既存プールは老朽化に加え、多額の修繕費や維持管理費が課題となっており、持続可能な運営のため余熱利用施設へ機能を移行します。 学校遊具については、子どもたちが適切に体力を養える環境を整えるため、設置状況を改めて確認し、整備に努めてまいります。

③. 本庁舎優先駐車区画の路面表示改善について

主な意見・提案	市長の回答(要旨)
本庁舎の優先駐車区画が県の基準に適合していないため、令和8年度予算での塗り直し・改修を要望します。	ご指摘の箇所については既に課題として認識しており、路面改修などの機会を捉えて基準に即した正しい表示への塗り直しを行います。 細部への配慮に感謝いたします。適切な維持管理に努めてまいります。

④. 菖蒲地区(小林・栢間・三箇)の課題と地域活性化について

主な意見・提案	市長の回答(要旨)
菖蒲地区は人口減少が進む一方、宅地活用や公共施設の維持、公共交通の欠如など生活インフラに多くの課題を抱えています。 地区の衰退を防ぐための具体的な施策を伺いたいです。	既存の宅地や空き家の有効活用を促進し、若年層が定着・還流できる環境づくりを進めます。 地域活性化の切り札として、「道の駅」を魅力ある施設にするとともに、周辺を新たな産業基盤として開発することも視野に入れ、持続可能な地域のあり方を検討してまいります。

⑤. 地域要望に対する回答の迅速化について

主な意見・提案	市長の回答（要旨）
<p>砂利敷きや草刈りなどの地域要望を各部署へ伝えていますが、回答が遅く催促を要する場合があります。連絡体制を改善してほしいです。</p>	<p>要望が多数重複し、対応に時間を要している現状がありますが、まずは可否を含めた回答を速やかに行うよう徹底します。 限られた人員の中でも優先順位を明確にし、迅速な情報共有と適切な対応に努めてまいります。</p>

⑥. 栢間地区の古文書整理と解説について

主な意見・提案	市長の回答（要旨）
<p>他地区の古文書は町史などに翻刻・掲載されていますが、栢間、菖蒲地区のものは古文書のままです。栢間地区には歴史がありますので、古文書の整理を要望します。</p>	<p>栢間地区は、徳川十六神将・内藤正成の知行地であります。 歴史的に貴重な資料の整理は、学芸員などの専門人員に限りがあるため時間は要しますが、地域の貴重な財産を次世代へ確実に継承できるように取り組んでまいります。</p>

⑦. 道路整備の予算配分と計画の周知について

主な意見・提案	市長の回答（要旨）
<p>地元で道路整備の実感が乏しく、地区間の予算配分が不透明に感じます。 各地区への配分状況や今後の工事予定箇所を公開してほしいです。</p>	<p>道路予算は市内4地区へほぼ均等に配分していますが、菖蒲地区は面積が広いため整備効果が見えにくい側面があります。 公平な発展を期すとともに、今後は整備予定箇所を皆様へ分かりやすく示し、情報の公開・周知を徹底してまいります。</p>

⑧. 菖蒲南中学校跡地の利活用計画について

主な意見・提案	市長の回答（要旨）
<p>菖蒲南中学校の跡地利活用に関し、事業者から提案が出されていると聞いています。 現時点での進捗や今後の具体的な計画について伺いたいです。</p>	<p>菖蒲南中学校の跡地は地域にとって貴重な施設であり、有効活用が不可欠です。現在、事業者から寄せられた菖蒲地区の皆様へ資する前向きな提案を精査しています。 引き続き、ふさわしい事業主体の選定を進め、最適な時期に市民の皆様へ具体的な計画を公表してまいります。</p>